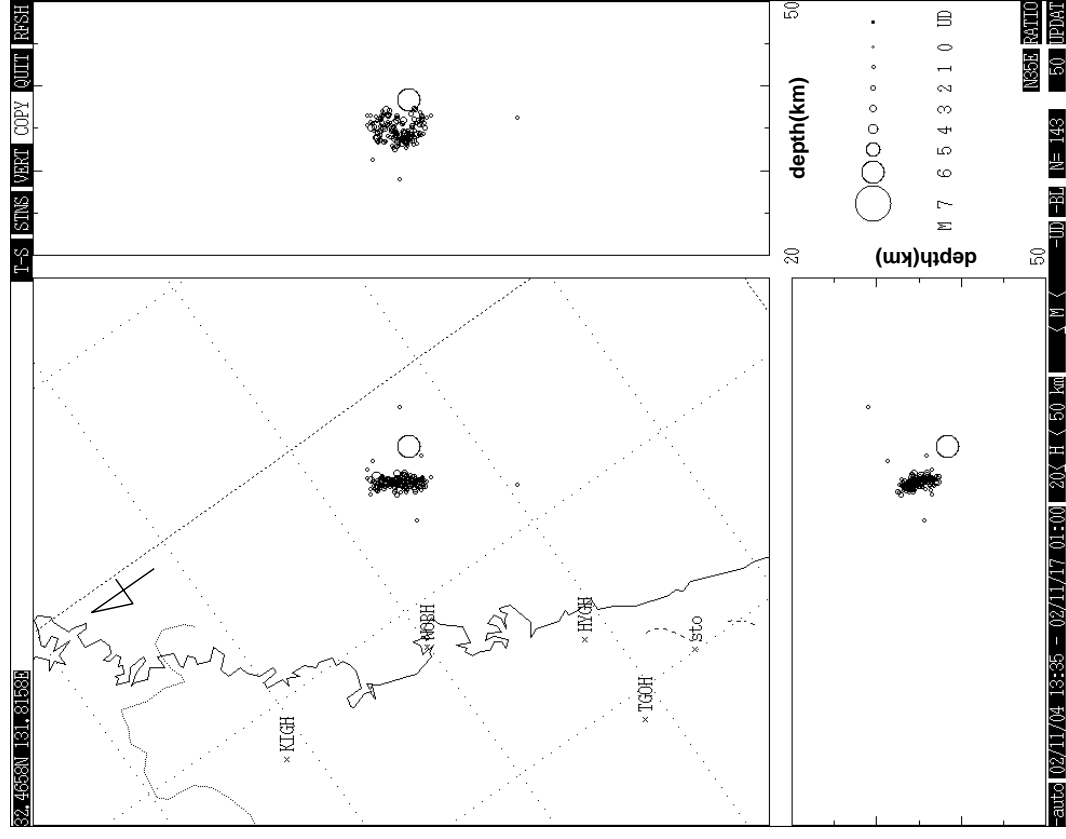
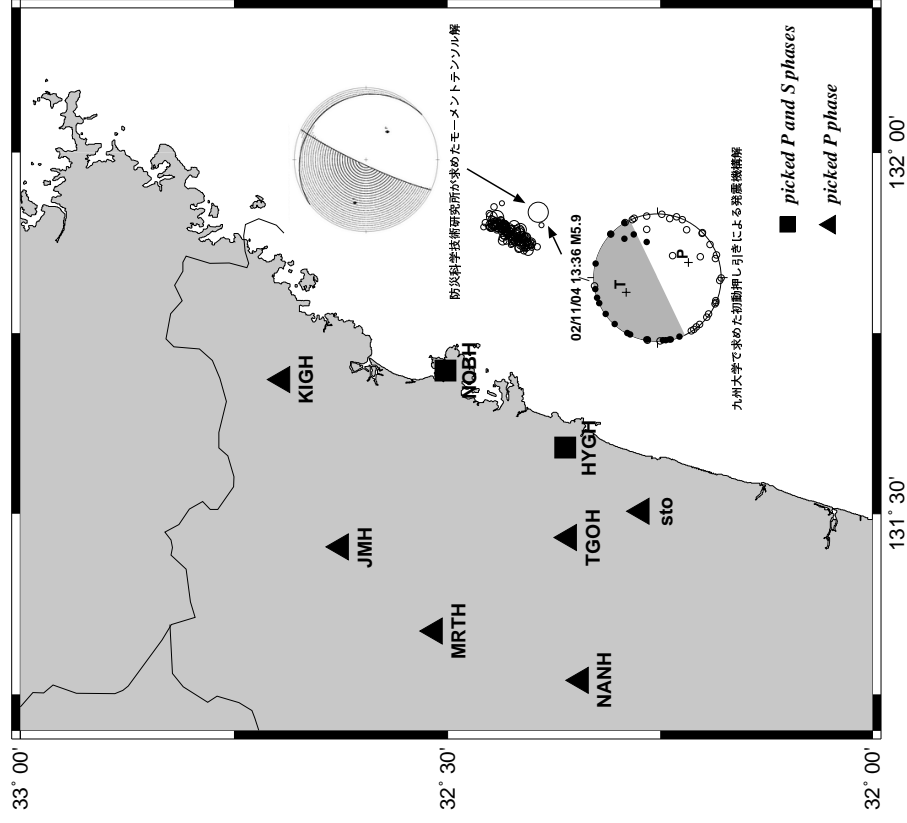


日向灘の地震(2002/11/4 M5.9)について



2002/11/4 M5.9の本震と余震について8観測点(左図の三角と四角のシンボルの)P波と2観測点(左図の四角のシンボルの)S波の検測値のみを使用して震源決定を行なった。その結果、N35Eの走向ではほぼ垂直な余震分布を得た(右図)。震源の位置よりこれらの地震はフィリピン海プレート内で発生したものと考えられる。

本震には明瞭な初期破壊フェーズが見られるため、P波初動の押し引きによる発震機構解とモーメントテンソル解とが異なる結果になったと考えられる。またこの理由のため、本震の位置についても更なる検討を要する。